

2022年  
第6月号



# 東幹輸ファミリー

JR 東日本輸送サービス  
労働組合  
東京新幹線運輸区分会  
発行責任者 江口 知秀  
編集責任者 情 宣 部

当区の現車訓練中

# 労働災害発生！

6月6日の現車訓練にて、組合員が車両（E3系）ステップから、転落するという事象が発生しました。幸い大怪我には至りませんでしたでしたが仮に転落時に昇降台に頭を強打していたら命に関わる重大な事象でした。タブレットに配信されていますが、詳細を知らない方も多くいると思います。

**分会は、労働安全関係法令を遵守し、リスクアセスメントの実施、臨時の安全衛生委員会やCS座談会の開催が必要と考えます！**

事業場（職場）で労働災害が発生した場合、厚生労働省はリスクアセスメントに基づく取り組みを推奨しています。

- ① 従業員の就業における危険性または有害性の特定
- ② 特定したすべての危険性または有害性について、リスクの見積もり・・・安全衛生委員会の開催
- ③ 見積もりに基づき、リスクを低減するための優先度の設定・・・CS座談会等で全社員から意見聴取
- ④ リスクの低減の検討及び実施
- ⑤ リスクアセスメント低減措置の記録

**労働災害の発生に対しては全社員で対策を打ち出すものです。決して、当該社員だけの問題ではありません。職場全体で労働災害防止に取り組み一人ひとりが知識を持ち、注意喚起できれば未然防止が可能です。**

輸送サービス労組は、ヒヤリハットや細かな事象について共有することが重要と認識し総対話等で共有を図り安全第一の職場を目指して行きます。